

先生各位

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 変更実施日 2018年10月15日（月）受付分より

● 新規項目

案内書 掲載頁	項目 コード	項目名称	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料*3	検査方法	基準値 *1
未掲載	3444	オートタキシン (JLAC10コード) 5C240-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	194点 (生I)	FEIA法	(下表参照)

● 基準値（カットオフ値） *1

	①線維化進展例 *2 (mg/L)	②肝硬変 (mg/L)
M	0.910	1.690
F	1.270	2.120

①より高い検体は、肝線維化進展例と判定

②より高い検体は、肝硬変と判定

*1：判定上の留意事項

- ・ 妊婦では週数が進むに従いATX濃度が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。
- ・ 悪性リンパ腫患者、進行した悪性腫瘍患者では、ATX濃度が高値となることが確認されています。また、重度の心不全患者でも高値を示す場合があります。
- ・ 副腎皮質ステロイドを服用している人ではATX濃度が低値を示す場合があります。
- ・ 肝炎ウイルスを原因としない慢性肝疾患においては、肝線維化ステージとATX濃度の関係がウイルス性肝疾患と異なる場合があります。

*2：C型肝炎治療ガイドライン（第5.4版）の「肝線維化F2以上」に相当します。

*3：算定留意事項

- ア オートタキシンは、区分番号「D007」血液化学検査の「48」Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体の所定点数に準じて算定可能です。
- イ 本検査は、サンドイッチ法を用いた蛍光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者（疑われる患者を含む。）に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定できます。
- ウ 本検査と区分番号「D007」血液化学検査「37」のプロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド（P-Ⅲ-P）、「38」のⅣ型コラーゲン、「40」のⅣ型コラーゲン・7S、「44」のヒアルロン酸又は「48」のMac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。

